

羅 針 盤			達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	(1)工業高校としての特色を理解している、自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。 (2)工業の基本である「ものづくり」に積極的に取り組んでおり、座学や実習内容に満足している生徒が80%以上である。 (3)生活体験発表作文に全校生徒で参加し、作文の提出率は100%である。	A	A	A	授業改善、学校行事の充実を図りながら生徒が高校生活を満足できるよう取り組んだ。 基礎・基本を学びながら、ものづくりに興味・関心を示し、積極的に取り組む生徒が多く見受けられるようになった。さらに継続的な指導を行っている。 学校行事として全校で取り組み、ほぼ全校生徒が提出することができた。	①	※学校関係者の評価が枠に入りきらないため、別紙としました。 ・定時制工業高校にしかできない魅力を発信していき、学校生活が充実できるよう設定していく。 ・4年間の集大成としての課題研究において、生徒自らが考える力を身につけ、調査・研究を意欲的に取り組めるようにしていく。 ・学校行事として取り組み、各生徒が県大会出場を目指し、100%提出を目指す。
	2 専門高校として、職業人育成のための取り組みをしていますか。	(4)挨拶・礼儀等の指導が図られ80%以上の生徒が校内で実施している。 (5)安全意識を高めるため、作業着の着用・授業の準備・片づけが積極的にできる生徒が80%以上である。	B	A	A			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	(6)生徒の実態に応じた学習指導を実施し、学習に対する達成感・満足感を持っている生徒が70%以上である。 (7)わかる授業の展開に工夫があり、授業の理解度は70%以上である。	B	A	B	学力に課題のある生徒に対しても、達成感や満足感が得られる方策を講じた。 学力の定着に課題がある生徒に対して、別途課題などを用意しその定着を図った。 特に長期休業中を利用して、自らの力で課題を克服できるよう指導を行った。	②	・授業改善事業校内研修会等を利用し、生徒の現状に合わせた授業展開を心がけていく。 ・各職員が自己研鑽を続け、分かりやすい授業と補習等を実施していく。 ・到達度の低い生徒に対して、長期休業中に限らず課題等を与え、今後の学習に繋がる指導を継続していく。
	4 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	(8)到達度の低い生徒に対して各教科で対策を考え、課題等の完了率は90%以上である。	A	A	A			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	(9)生徒会主催行事に積極的に生徒が参加し、生徒の70%以上が満足している。 (10)部活動加入生徒が部活動に積極的に参加し、70%以上が満足している。	A	A	A	・ほぼ全員の保護者が、緊密に連絡が取れていると満足をしている。 ・欠席率が非常に低く、就学意識が非常に高い。 検診項目によって、大きくばらつきが見られる傾向にあり、引き続き機会毎に呼びかけを継続して行う。 ・12月にいじめを認知した。95%の生徒と保護者が学校は発生防止に努めていると回答している。早期発見解消を継続する。 ・96%の生徒が車両点検、交通ルールを守ることに努めている。自転車ヘルメット着用啓蒙を継続したい。	③	・保護者が学校に寄せる期待も大きい。家庭との連携を継続し、緊密な関係を継続していきたい。 ・就学状況が良好な状態を継続したい。 来年度から高校生の医療費が無料になる自治体が増える事を、生徒・保護者に周知して、受療率の増加につなげたい。 ・いじめや自死の防止を継続したい。いじめを認知した場合には全力を尽くして解消に努めたい。 ・交通マナーの向上、事故の根絶を目指して、更に安全意識を高めていきたい。
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	(11)学校と緊密に連絡を取り、生徒の怠慢による遅刻や欠席をなくす努力をしている保護者が80%以上である。 (12)欠席・遅刻をしないように努力している生徒が80%以上である。	A	A	A			
	7 学校はいじめ防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	(14)自死防止・いじめ防止に努め、いじめの解消率は100%である。	A	A	A			
	8 交通安全教育を推進していますか。	(15)交通用具利用者(ほぼ全員)に対し、車両点検を年2回実施し、安全指導・安全管理を徹底する。	A	A	A			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	9 計画的な指導を行っていますか。	(16)仕事と勉強を両立させようと努力している生徒が80%以上である。 (17)生徒の生活改善や進路相談のため、保護者との面談を年1回以上実施している。	B	B	B	・就業率があまり高くない。アルバイトやインターンシップ参加や就業に対する意識を高めたい。 ・早くから進路への意識付けをするために、4学年だけでなく、3学年でも三者面談を行う予定である。 ・進路への意識を高めるきっかけになる行事を行ってきたい。	④	・就労への支援を引き続き行い、インターンシップ参加や就業に対する意識を上げ豊富な社会体験ができるよう促す。 ・面談内容が本人の進路選択に活かせるよう、情報提供の必要な資料を学年や全日制、外部関係者と連携していく。 ・進路に向けた自己の課題について主体的に考えることができ、それに向けた具体的な行動ができるよう支援していく。 ・高校生活で早い段階からキャリア形成を意識して向き合い、保護者に対する協力の必要性を考えさせていく。
	10 生徒は自らの進路について真剣に考え、そ実現に向けて取り組んでいますか。	(18)進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。 (19)生徒の将来の進路について話し合っている保護者が80%以上である。	A	B	B			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	11 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	(20)家庭や地域との情報共有や相互の信頼関係を構築出来るよう「学校公開」を年3回以上実施する。 (21)GSN等のネット媒体のさらなる活用とともに学校から発信するホームページは少なくとも月1回以上は更新する。 (22)科目履修生や専科生等社会人を受け入れている講座が5科目以上ある。	C	B	B	コロナのため中止になった行事もあったが、学校説明会は例年以上に参加者も多くきちんと実施できた。 ホームページを定期的に更新しつつ、GSNやグーグルフォーム等を用いての集約を行うことが出来た。 1学期は前向きに取り組んでいた専科生が2学期で退学してしまったことは残念である。	⑤	・しばらく実施されていなかった学校公開が再開された場合、しっかりとプランクを埋められるようにしたい。 ・情報媒体の主流がネットに移行していく中、紙媒体の取り扱いをどうするか検討していきたい。 ・現在在籍のない専科生や科目履修生の募集をいかに地域に周知してくかが課題である。
	12 家庭、地域社会の教育力を活用していますか。	(23)保護者や地域社会の人を講師とした講演会などを年3回実施している。	A	A	A			
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	13 ICTを活用した指導を行っていますか。	(24)ICTを活用した授業に生徒の80%以上が満足している。	A	A	A	配付された学習用端末を適宜利用し、視覚的効果を含め興味関心を高めることができた。 保護者アンケートの回答率が低く、利便性の周知がさらに必要である。	⑥	・視覚的・体験的効果により、興味・関心をさらに高め、今の情報社会に対応できる授業展開としていく。 ・メールでの案内だけではなく紙媒体での案内も活用しながら周知をしていく。
	14 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	(25)ICTを活用したアンケートに生徒・保護者の80%以上が満足している。	B	C	C			